

# シーボグ400MM

## 道糸入力方法「棚センサーブライト編」

PO 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライトまたはナイロン糸を巻かれるときに、次ページに記載の糸種・号数・巻き糸量の中から選択してセットするだけでデータが入力できる便利な方法です。

(タナセンサーブライト4号400mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

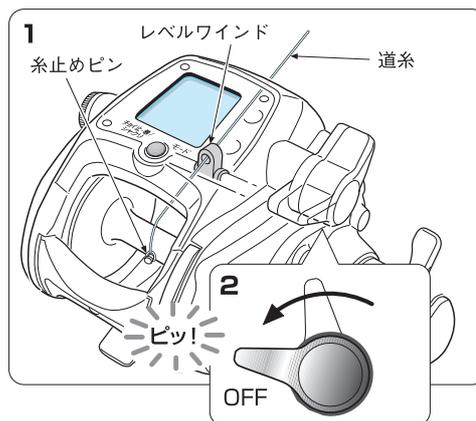
### 1. 道糸をレベルワインドに通してスプールの糸止めに結んでください。

- ※付属の糸通しピン (P.14参照) を使うと簡単に通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- ※ドラグを締め付けてください。

### 2. パワーレバーをOFFまで戻します。

### 3. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

- ※接続方法についてはP.8「電源とのつなぎ方」を参照ください。
- ※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。



- ・糸を巻き込まないように注意してください。
  - ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
  - ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

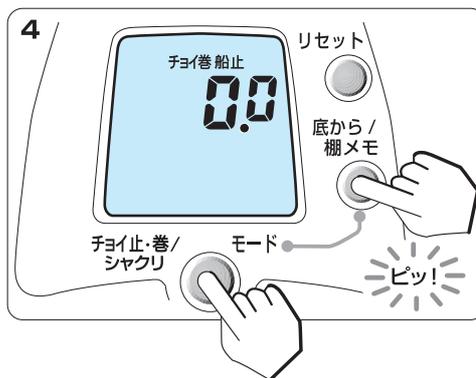


**注意**

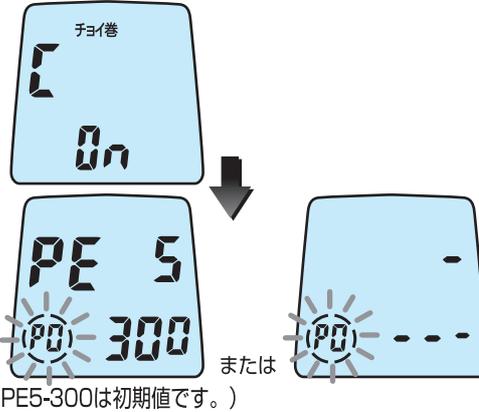
### 4. 表示が 0.0 のときに

**底から/棚メモ** スイッチと

**モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを同時に6秒間押し続けてください。



※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。



5.初期設定PE5号-300mの画面になります。

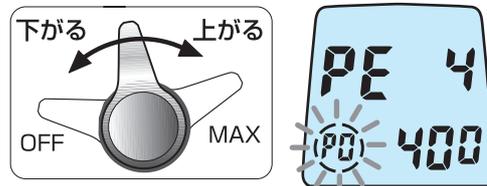
( [PO] が点滅します。)

※ここで一旦スイッチを離してください。

6.パワーレバーで、ご使用になる糸と巻き量の組合せを選択してください。

- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値下がります。

下表はデータ一覧表を示します。



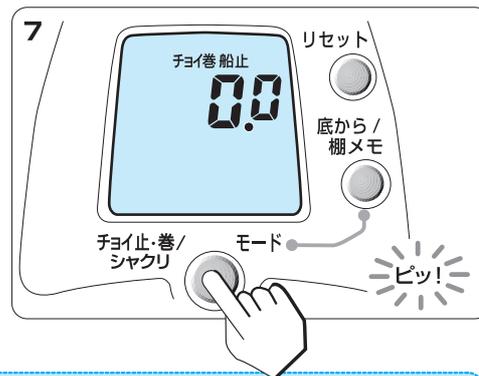
※図の場合ではPE4号400mのデータがセットされます。

#### 選択可能なデータ一覧表

PE (左上の表示がPEの場合)(m)			ナイロン (左上の表示がLの場合)(m)		
4号	300	400	5号	300	—
5号	—	300	6号	300	—
6号	200	230	7号	200	250

7.パワーレバーで数値が選択できたら、**モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを押して完了です。

アラーム音が鳴り、表示が **0.0** mに戻ります。



**便利**

※シーボグ400MMには、あらかじめ棚センサーブライト5号-300mのデータが入力されています。棚センサーブライト5号-300mを巻く場合は、データのインプットは不要です。

## 道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

## P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時の便利な方法です。  
(PE4号400mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

1. 道糸をレベルワインドに通してスプールの結んでください。

※付属の糸通しピン (P.14参照) を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2. パワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させてください。

4. 表示が **0.0** のときに

**底から/棚メモ** スイッチと

**モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。

5. 初期設定PE5号300mの画面になります。

( **P0** が点滅します。)

※ここで一旦スイッチを離してください。

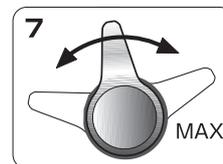
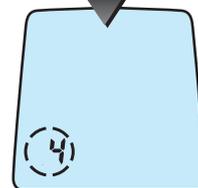
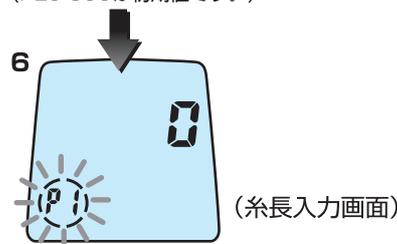
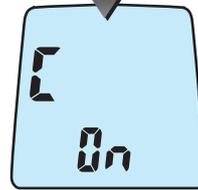
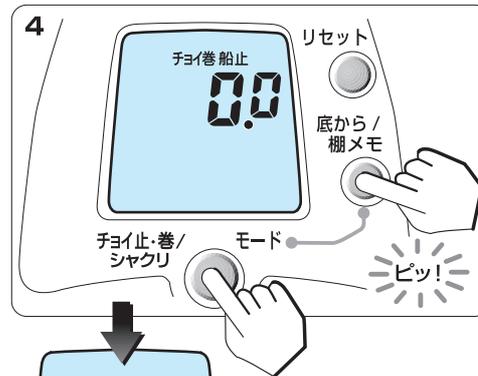
6. **モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを1回押して糸長入力画面にします。

( **P1** が点滅します)

7. テンションを調整して、パワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。

パワーレバーを倒すと **P1** がテンション表示に変わります。

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。巻き取りを始めると、上のカウンターの数値が増えていきます。(スプールの回転数を表示します。)

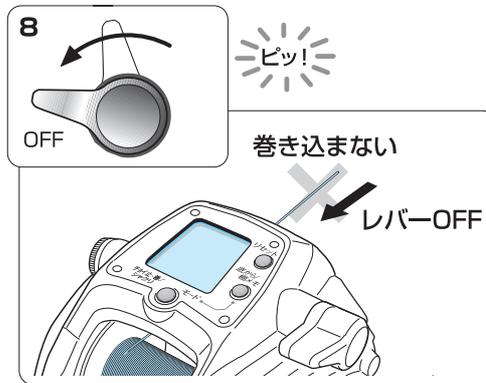




- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

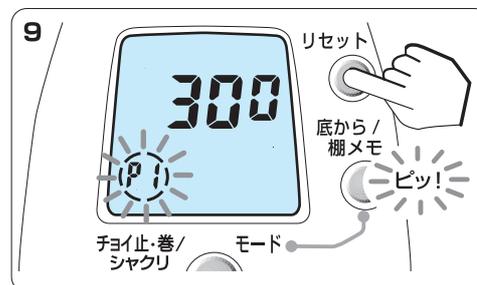
(※1)10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

8. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・この入力方法はPE2号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

9. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が **300** mになるまで押し続けてください。  
(300は初期設定値です。)

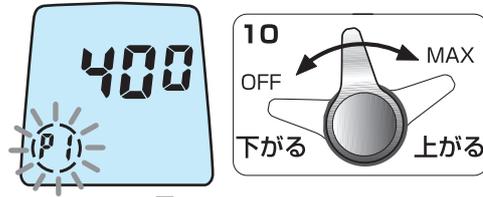


## 道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

## P1 糸長入力

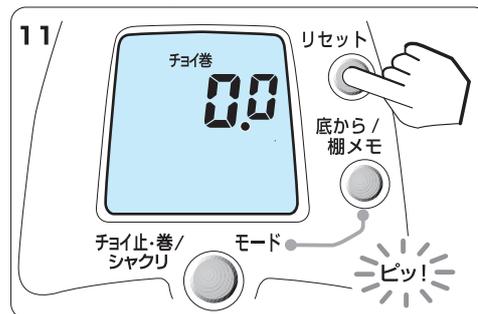
10. パワーレバーで、道糸の長さをセ  
ットします。

(図は、400mにセットした場合です。)  
(セットする数値は、10m単位です。)



11. **リセット** スイッチを2秒以上押し  
てください。アラーム音が鳴り、表  
示が **0.0** になれば完了です。

※ **Err** になった場合は、**モード** (チョイ  
止・巻/シャクリ) スイッチを押して始めか  
ら再度入力又は、引出し入力 (P26.27)  
をしてください。



# 道糸入力方法「下巻き入力」

## P2 下巻き入力

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 下巻用の糸をレベルワインドに通してスプールに結び、通電させてください。

※付属の糸通しピン (P.14参照) を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

※パワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置 (手前) に戻してから出力してください。

3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が **0.0** のときに

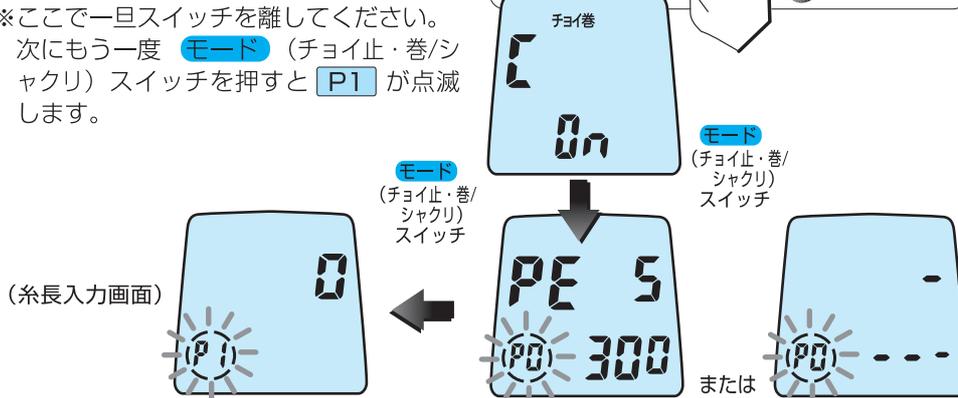
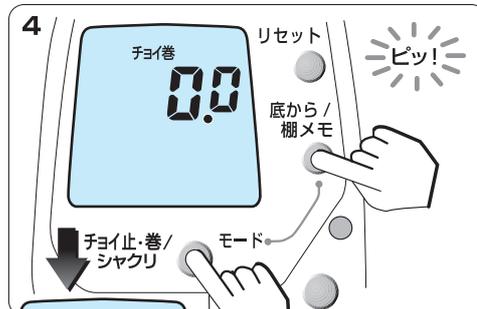
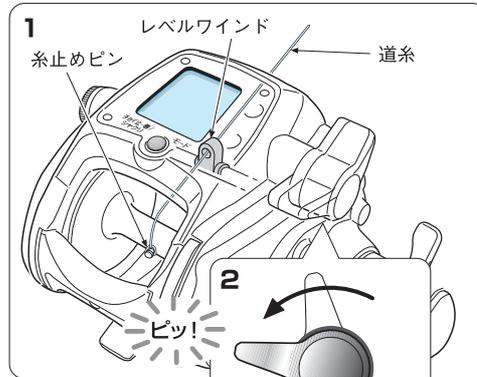
**底から/棚メモ** スイッチと

**モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **PO** が点滅します。

※ここで一旦スイッチを離してください。

次にもう一度 **モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを押すと **P1** が点滅します。



## 道糸入力方法「下巻き入力」

## P2 下巻き入力

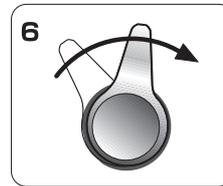
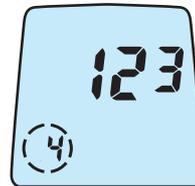
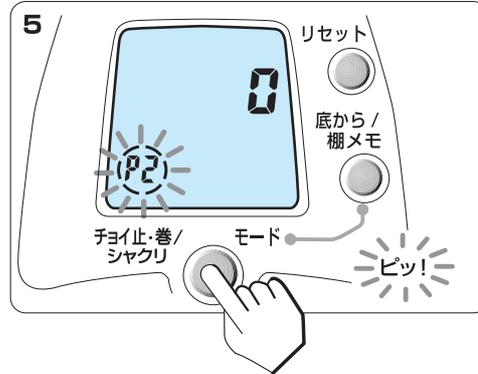
5. 糸長入力画面になったらもう一度 **モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを押して下巻き入力画面にしてください。

**P2** が点滅します。

6. テンションをかけて糸色に注意しながら残り100mになるまで道糸を巻いてください。

パワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。



- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますので心配ございません。

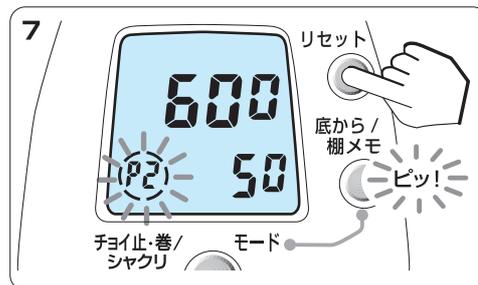
(※1)10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押ししてください。

**P2** が点滅し、下のカウンターが **50** になります。

上のカウンターの数値は糸を巻くと増えていきます。

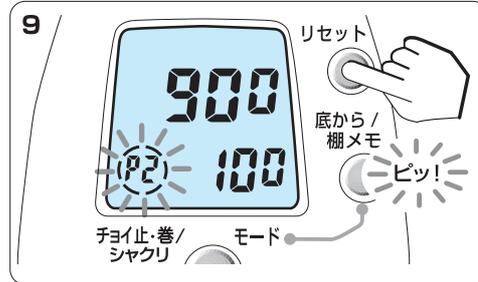
8. テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。



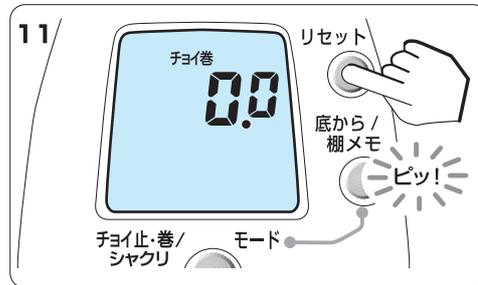
9. **リセット** スイッチを2秒以上押ししてください。

下の数字が **100** になります。

10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。



11. **リセット** スイッチを2秒以上押して表示が **0.0** m になり完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1～2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、**モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを押して始めから再度入力又は、引出し入力 (P26.27) をしてください。

## 道糸入力方法「引出し入力」

## P3 引出し入力

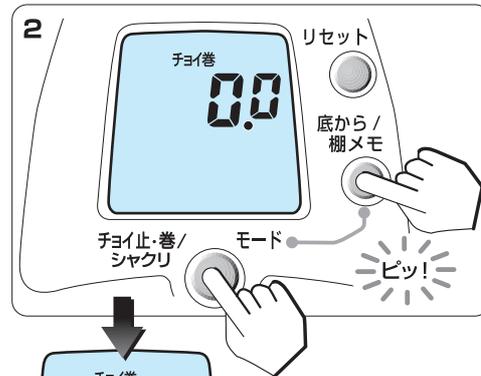
道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 通电させてください。

2. **底から/棚メモ** スイッチと **モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを同時に6秒以上押し続けてください。

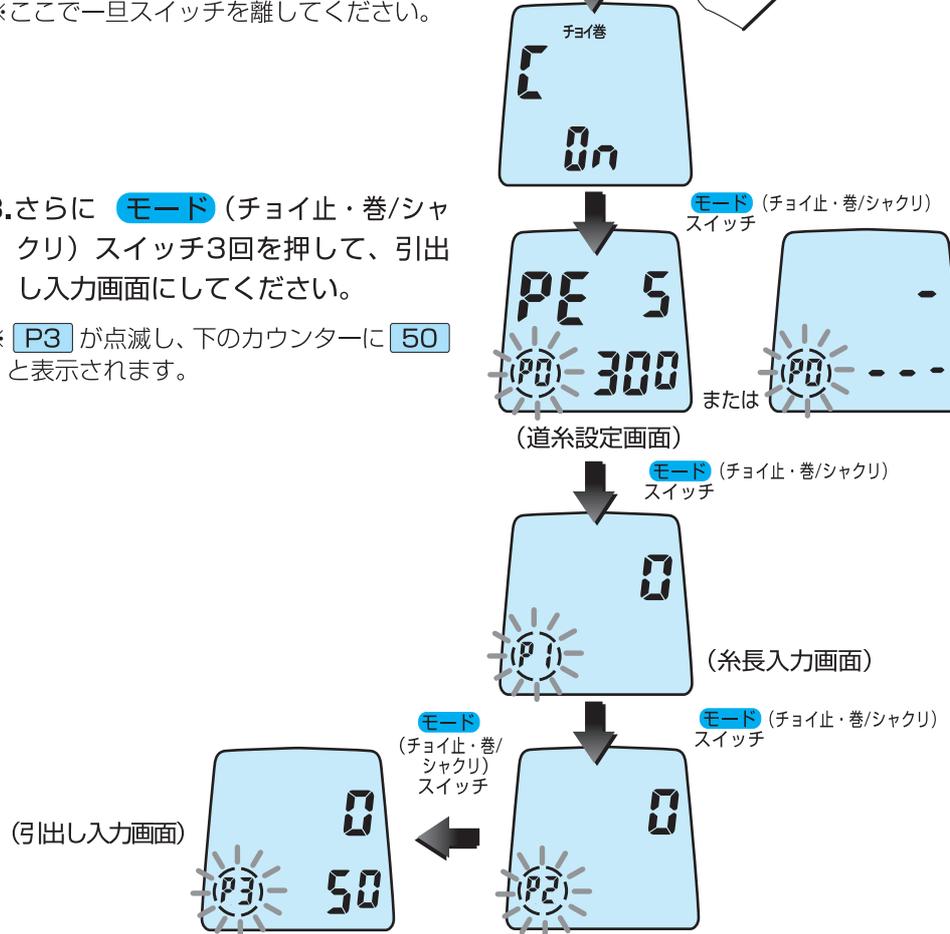
※チョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **P0** が点滅します。

※ここで一旦スイッチを離してください。



3. さらに **モード** (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ3回を押して、引出し入力画面にしてください。

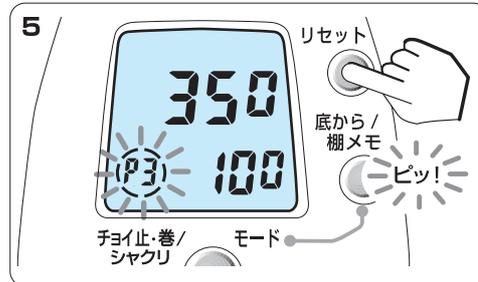
※ **P3** が点滅し、下のカウンターに **50** と表示されます。



4.糸のマークに注意しながら、50m引き出します。

5. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。



6.糸のマークに注意しながらさらに50m引き出してください。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

上の数字が **100.0** になります。



8.引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1~2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、**モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを押して始めから再度入力をしてください。